

或問

第1号

	『或問』発刊にあたって	内田慶市	1
論文	井上哲次郎『訂増英華字典』の典拠	宮田和子	3
	「望遠鏡」の語誌について	谷口知子	17
	『江鮑笑集』のことば	西山美智江	35
	モリソン訳『神天聖書』について	塩山正純	53
	近世唐話学における多様性	奥村佳代子	69
十字路	羅森来日の契機について	陶徳民	91
	ある出会い	萩野脩二	93
	北京研修を終えて	西川和男	95
	わたしと近代日中学術用語の研究	荒川清秀	97
情報の泉	1999-2000年度関係論文		68
	1999-2000年度関係図書		90



(解題 p.99)

近代東西言語文化接触研究会

2000.10

近代東西言語文化接触研究会

本会は、16世紀以降の西洋文明の東漸とそれに伴う文化・言語の接触に関する研究を趣旨とし、具体的には次のような課題が含まれる。

- I. 西洋文明の伝来とそれに伴う言語接触の諸問題に関する研究
- II. 西洋の概念の東洋化と漢字文化圏における新語彙の交流と普及に関する研究
- III. 近代学術用語の成立・普及、およびその過程に関する研究
- IV. 欧米人の中国語学研究（語法、語彙、音韻、文体、官話、方言研究等々）に関する考察
- V. 宣教師による文化教育事業の諸問題（例えば教育事業、出版事業、医療事業など）に関する研究
- VI. 漢訳聖書等の翻訳に関する研究
- VII. その他の文化交流の諸問題（例えば、布教と近代文明の啓蒙、近代印刷術の導入とその影響など）に関する研究

本会は、当面以下のような活動を行う。

1. 年3回程度の研究会
2. 年2回の会誌『或問』の発行
3. 語彙索引や影印等の資料集（『或問叢書』）の発行
4. インターネットを通じての各種コーパス（資料庫）及び語彙検索サービスの提供
5. 4.のための各種資料のデータベースの制作
6. 内外研究者との積極的な学術交流

本会は、言語学、歴史学、科学史等諸分野の研究者の力を結集させ、学際的なアプローチを目指している。また研究会、会誌の発行によって若手の研究者に活躍の場を提供する。学問分野の垣根を越えての多くの参集を期待している。

本会は当面、事務局を下記に置き、諸事項に関する問い合わせも下記にて行う。

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 関西大学文学部中国語中国文学科
内田慶市研究室 (Tel.ダイヤルイン 06-6368-0431)

E-mail: keiuchid@pp.iij4u.or.jp

Homepage: <http://www.pp.iij4u.or.jp/~keiuchid/>

[Http://www1.fl.kansai-u.ac.jp](http://www1.fl.kansai-u.ac.jp)

代表世話人：内田慶市

或問

編集後記

雑誌を作ることは、やはり難しい。
第一に時間がない。第二に多言語混在の文章は、ややこしい。しかし、白帝社佐藤康夫社長のご高配と寄稿して頂いた皆様のご協力を得て、何とか出版に漕ぎ着けることができた。感謝感謝。次号は、2001年3月末の出版を予定している。原稿締切は2月15日である。そのころは、Mac OS Xの出現で編集作業が少し楽になることが期待できるし、作業のコツも少し覚えたつもりである。あとは皆様の玉稿をお待ちするのみである。寄付によるご支援も大歓迎です！！

誌名題字は、西冷印社社員陳波先生のご揮毫による。

第1号編集担当：沈 国威（10.10）

執筆者一覧

宮田 和子（東亜学院）
谷口 知子（関西大学・院）
西山美智江（関西大学・非）
塩山 正純（愛知大学）
奥村佳代子（関西大学・非）

内田 慶市（関西大学）
陶 徳民（関西大学）
萩野 脩二（関西大学）
西川 和男（関西大学）
荒川 清秀（愛知大学）
沈 国威（関西大学）

或問 第1号

2000年10月1日発行
WAKUMON No.1（2000）
編集・発行 近代東西
言語文化接触研究会
代表者 内田慶市
E-mail: keiuchid@pp.ij4u.or.jp
<http://www.pp.ij4u.or.jp/~keiuchid/>
編集 沈 国威
E-mail: guowei@ipcku.kansai-u.ac.jp
<http://www1.fl.kansai-u.ac.jp>

事務局：関西大学 文学部
内田研究室
ダイヤルイン 06-6368-0431
564-8680 大阪府吹田市
山手町3-3-35

発売 白帝社
171-0014
東京都豊島区池袋2-65-1
Tel. 03-3986-3271

頒価 1,500円

WAKUMON

Journal of

Studies in the Translating Western Knowledge into China. (TWKC)

No. 1, October 2000

CONTENTS

MIYATA Kazuko: The Sources of T. Inoue' <i>English and Chinese Dictionary</i> (訂增英華字典) ...	3
TANIGUCHI Satoko: A Historical Study of the word “望遠鏡” (telescope) ...	17
NISHIYAMA Michie: A study of words in 江鮑笑集 (<i>A Collection of jokes</i>) ...	35
SHIOYAMA Masasumi: On “神天聖書” (<i>Bible</i>) translated by R. Morrison...	53
OKUMURA Kayoko: Miscellaneoussness of <i>Towa</i> -studies	69

KANSAI UNIVERSITY
Association for the study of the
Modern Chinese-Western Language and Cultural Contacts.

YAMATE-CHO 3-3-35
SUITA-CITY, OSAKA, JAPAN 564-8680

『或問』発刊にあたって

内田慶市

十六世紀後半からのヨーロッパ宣教師をその主要な担い手としたいわゆる「西学東漸」という一つの大きな文化事象とそれに伴う東西の「言語文化接触」に関わる研究は、ここ数年来盛んに行われるようになってきた。

国際シンポジウムもすでに何度も開催されてきている。本誌を発刊する機は熟したとすることができる。この種の研究において最も特徴的なことは、それが言語学、社会学、歴史学、地理学、天文学、物理学、化学等々の様々な分野にまたがる「総合的」「学際的」な視野が何よりも要求されるということであろう。それはまた「伝統的支那学」が追い求めたものと本質的な部分で実は一致するということもできるかも知れない。

従って、本誌はいかなる分野からのアプローチであれ、「近代における東西の言語文化接触」に関わる問題を取り上げたものであれば、一定の水準を満たすという条件の下で、その掲載を拒否しない。ただ私たちが取る唯一の基本的立場だけは示しておく。

「学問（真理）の前では何人も平等である」という立場である。

そのことは「通説を鵜呑みにしない」「権威に盲従しない」という立場でもある。そしてその前提として「先ずは疑え」が存在する。「なぜ？」という問いかけがなければいかなる問題も生まれてはこない。『或問』と命名した所以でもある。本誌の趣旨に賛同される多くの研究者、とりわけ若き学究の徒の積極的な参加を期待するものである。

なお題字は陳波氏にお願いした。記して感謝の意を表しておきたい。

『或問』投稿規定

- 投稿資格は、近代東西言語文化接触研究会会員（入会は内田、又は沈まで）。
- 投稿論文は、原則として未公開の完全原稿とし、電子テキストとプリントアウトの両方を提出する。原稿は返却しない。
- 執筆者による校正は、二校までとする。
- 投稿論文は、本誌掲載後、他の公式出版物への投稿を妨げない。
- 原稿作成に当たって、『或問』「執筆要領」を厳守する。
- 原稿料は支払わないが、雑誌を半額で提供する。

『或問』執筆要領

1. 使用言語は、日本語、英語、中国語とする。
2. 字数は、16,000字（400字詰め原稿用紙40枚）までとする。
3. 簡単な要旨（原稿と異なる言語による）を付する。
4. 投稿は、所定のフォーマットを用い、表などは極力避ける。フォーマットは、接触研のホームページにアップしてある。（<http://www1.fl.kansai-u.ac.jp>）
5. テンプレートを使用しない場合、テキストファイルの形で提出する。
6. 論文中に中国語などを混在させる場合、Windows は、微軟 Pinyin2.0（簡体字）、微軟新注音（繁体字）を用いること。
7. 注は、文末注を用い、文章の行中に（注1）のように番号を付ける。
8. 参考文献は、下記の体裁で文末注の後に付ける。

(単行本)

或問太郎 2000 『西学東漸の研究』大阪：しずみ書房

Adrian Bennett, 1967. *John Fryer: The introduction of Western Science and Technology into Nineteenth-century China*, Cambridge, Mass., Harvard University Press

(論文)

或問花子 2000 「東学西漸の研究」『或問』第1号 2-15頁

John Fryer, 1890. "Scientific terminology: present discrepancies and means of securing uniformity", *Records of the General Conference of the Protestant Missionaries of China Held at Shanghai, May 7-20, 1890*, Shanghai, pp.531-549

9. 本文や注の中で、文献に言及するときには、或問太郎（2000:2-15）のように指示する。同一著者による同年の論著は、2000a、2000bのように区別する。

内田慶市 (keiuchid@pp.ij4u.or.jp)

沈 国威 (guowei@ipcku.kansai-u.ac.jp)